

「小さなキツツキ」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

北軽井沢には野鳥が多い。種類も個体数も豊富である。冬枯れの景色でも、雪景色でも、どこかで鳥の声がして、よく探すと姿も見える。下の写真にも、野鳥がいるが、よく目を凝らさないと見つからない。



左側の斜めの枝に小鳥がぶらさがっている。スズメぐらいの大きさしかない。これは「コゲラ」である。

大型のキツツキである「アカゲラ」よりもずっと小さく、木を叩く音も小さく、小刻みである。しかし、冬でも活発に飛び回り、樹木の幹に並行に止まって目立つので、観察しやすい野鳥である。



「小さな枝に止まるコゲラ」 人をあまり怖がらず、カメラを向けても、同じ樹で遊んでいる。アカゲラとちがって、こうした細い枝にも止まって、嘴で叩く。



コゲラ *Dendrocopos kizuki* / 2016, -1, 17 北軽井沢
日本に生息するキツツキの中では、一番小型。学名の” *kizukii*” は、模式標本(学名決定時の標本)の採集地が、大分県杵築市だったことに由来する。



「枝に休むコゲラ」 アカゲラの場合、こういう休み方はまずしない。コゲラは、幹に並行に止まるほか、枝で普通に休んだり、ぶら下がる行動も見られる。こうしていると、キツツキには見えない。